選 考 方 法　（2024年4月入学）

大学（学部）

（注意）すべての学部・学科等について、受入れを希望する教員と必ず事前に連絡を取り、受入内諾を得ること。

学部	学科		選考方法	備考
文教育学部	人文科学科	哲学・倫理学・美術史プログラム	書類審査 口述試験	出願開始日の2週間前までをめやすに、受入れを希望する教員と連絡を取って相談し、受入内諾を得ること。なお、連絡を取るときに、研究計画書（これまで自分がしてきた勉強の内容と今後本学で行おうとする研究の具体的計画を日本語で1200字程度、形式自由）と履歴書（日本語、形式自由）を必ず受入れ希望教員に提出すること（提出は電子メールへの添付）。
		比較歴史学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、相談時には、日本語で書いた履歴書と研究計画書(形式自由)を提示（送付）すること。
		地理環境学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、相談時には、日本語で書いた履歴書と研究計画書(形式自由)を提示（送付）すること。
	言語文化学科	日本語・日本文学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに、受入れを希望する教員に「研究生希望」という標題の電子メールで連絡し、相談し、内諾を得ること。
		中国語圏言語文化プログラム	書類審査 面接	遅くとも出願しめきりの4週間前までに、受入れを希望する教員に連絡をとること。
		英語圏言語文化プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。なお、相談時には、日本語で書いた履歴書と研究計画書(形式自由)を提示（送付）すること。
		仏語圏言語文化プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。なお、相談時には、日本語で書いた履歴書と研究計画書(形式自由)を提示（送付）すること。
		日本語教育プログラム	書類審査 面接	予め（遅くとも出願しめきりの４週間前までに）、受入れを希望する教員に連絡をとること。
	人間社会科学科	社会学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の3週間前までに受け入れを希望する教員に連絡をし、相談すること。手紙・Eメイルには、研究計画書と履歴書（連絡先を明記）を同封・添付すること。
		教育科学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに、受入れを希望する教員と連絡を取って相談し、受入内諾を得ること。なお、連絡を取るときに、研究計画書（これまで自分がしてきた勉強の内容と今後本学で行おうとする研究の具体的計画を日本語で2000字程度、形式自由）と履歴書（日本語、形式自由）を必ず受入れ希望教員に提出すること（提出は郵送あるいは電子メールの添付ファイルのいずれでも可）。
		子ども学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談すること。なお、連絡を取るときには、日本語で書いた履歴書と研究計画および出願の意図、経済的事情（生活費、授業料をどこから捻出するのか等）等を記した文書を郵便もしくは電子メールの添付にて受入れ希望教員へ提出すること。

	芸術・表現行動学科	舞踊教育学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の4週間前までに受入れを希望する教員に「研究生希望」という標題の電子メールで連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。
		音楽表現プログラム	書類審査 面接 実技等	出願開始日の4週間前までに受入れを希望する教員に「研究生希望」という標題の電子メールで連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、連絡を取るときには、(1)日本語で書いた履歴書と研究計画書（形式自由）、(2)卒業論文（本文が日本語以外の言語で書かれている場合は、日本語の要旨を添付すること）を電子メールの添付にて受入れ希望教員に提出すること。追加の資料を提出してもらうこともある。
	グローバル文化学プログラム		書類審査 面接	遅くとも出願しめきりの４週間前までに、受入れを希望する教員に連絡をとって相談すること。
理学部	数学科		書類審査 面接	
	物理学科		書類審査 面接	
	化学科		書類審査 面接	受入れを希望する教員と研究内容・研究計画について十分相談の上応募すること。
	生物学科		書類審査 面接	受入れを希望する教員と事前に連絡を取り、必ず受入内諾を得ること。
	情報科学科		書類審査 面接	
生活科学部	食物栄養学科		書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに電話、手紙、電子メールなどで受入れを希望する教員に連絡を取り、必ず受入れの内諾を得ること。 面接を実施することもある。
	人間生活学科	生活社会科学プログラム	書類審査 面接	受入れを希望する教員と必ず事前に連絡をとり、その際、本人が日本語で書いた作文を電子メールなどにて提出すること。作文は、①出願意図、②研究計画、③これまで自分がしてきた勉強の内容、④経済的事情（生活費、授業料をどこから捻出するのか等）の４項目を含んでいるものとする。
		生活文化学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受入の内諾を得ること。相談時には、(1)日本語で書いた履歴書と研究計画書、(2)卒業論文（本文が日本語以外の言語で書かれている場合は、日本語の要旨を添付すること）、(3)日本語で書かれた論文ないし授業のレポート、及び(4)TOEIC、TOEFLまたはIELTSの成績のスコア等を求める。
	心理学科	心理学プログラム	書類審査 面接	出願開始日の4週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、連絡を取るときには、日本語で書いた履歴書と研究計画書を必ず受入れ希望教員に提出すること（提出は郵送あるいは電子メールの添付ファイルのいずれでも可）。
共創工学部	文化情報工学科		書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、相談時には、日本語で書いた履歴書と研究計画書(形式自由)を提示（送付）すること。
	人間環境工学科		書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに電話、手紙、電子メールなどで連絡をし、かつ、出来る限り受入れを希望する教員を訪ね面談すること。